

会派視察研修計画書

令和4年3月23日

碧南市議会議長 様

会派名 想政会

代表者名 山中謙治

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	山中謙治、小林晃三、藤浦伸介、林田要、鈴木良和、生田充夫	
日時	令和4年3月30日（水）～令和4年3月31日（木）	
視察先	・リファレンス駅東ビル 福岡市博多区博多東1-16-14 一般社団法人地方議員研究会	
研修内容	・質問の実例研修	
日程	別紙のとおり	
交通手段	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関利用 乗降車駅名（ ）	<input type="checkbox"/> 自家用車利用 _____ 台 所有者名（ ）

（議会事務局記入）

旅費の額	(内 訳)
円	

様式14

会派視察研修報告書

令和 4年 3月31日

碧南市議会議長 様

会派名 想政会

代表者名 山中謙治

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員6名分の視察研修成果報告書を添付いたします。

参加議員	山中謙治 藤浦伸介 小林晃三 生田充夫 林田 要 鈴木良和
日 時	令和4年 3月30日（水）～3月31日（木）
視 察 先	福岡県博多 リファレンス駅東ビル
研 修 内 容	議員セミナー 「質問作りの玉手箱・民間活力編」
視察先面会者 又は講師名等	講師：村山祥栄氏
備 考	

※ 相手方から収受した資料の写しを添付してください。

様式15

視察研修成果報告書

令和4年3月31日

議員氏名 山中謙治

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期間 令和4年 3月30日（水）～令和 4年 3月31日（木）
- 2 視察先 福岡県 福岡市
- 3 視察の種類 想政会 会派視察研修
- 4 視察の成果等

●3月31日（水） 「質問の実例研修」受講 講師：村山 祥栄

一般社団法人地方議員研究会主催の「質問の実例研修」を受講した。

1. 官民連携の決定版 アウトプット（取り組みの結果）アウトカム（取り組みの成果）
でやるSIBとPFS

国のまち・ひと・しごと創生総合戦略及び地方創生交付金事業はすべての地方公共団体に義務付けられた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、基本目標ごとに数値目標の設定とこれらを用いた進行管理が義務付けられ、その数値目標はアウトカム指標であることが必修とされた。

P F S（成果連動型委託契約）とは事業の成果に連動して委託料の最終支払いが決まる民間への行政サービスの業務委託契約である。

従来型の委託事業のように成果の状況によらず、予め定めた額の支払いをするのではなく、民間のノウハウを活用することが可能になり、成果により報酬を支払う業務委託であり、効果が期待できる。

2019年度末時点で、既に50の地方公共団体が59件のP F S事業を実施しており、政府は活用が進んでいる、医療・健康、介護に加え再犯防止の3分野を重点分野を設定し、活用団体数を100団体にする政府目標を掲げ、その活用推進施策を実施している。

S I B（民間からの外部資金調達を伴う成果連動型民間委託契約）とは社会的インパクト投資のひとつであり、行政と民間事業者が連携して、社会問題の解決や行政コストの削減を図る為に導入された、イギリス発の新たな資金調達の仕組みである。

米国、英国、豪州などで50件以上の実績がある革新的な官民連携の社会的な投資モデルであるが、日本では八王子市の「大腸がん検診率向上」、神戸市の「糖尿病腎症重症化予防」等の実績はあるが、まだまだ実績が少ない。

2. P F I（民間協同のインフラ整備）

P F Iは公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい方法である。

文教施設、庁舎、市営住宅、公園等使用用途は幅広く、建築改修関係では一旦P F I手法を検討すべきである。

日本においては、厳しい財政状況の中、今後、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化することが予想されており、長期的な視点をもって、統廃合・再配置などを効率的・計画的に行うことが求められている。

このような状況の中、公共施設を最後まで保有せず、公共サービスを提供する「公共施設の非保有手法（リース方式等）」は有効な方法と考えられ、教育関連施設などで活用例が増えつつある（例：高浜市庁舎 ファイナンス・リース方式）。

3・施設包括管理

公共施設の安全性の向上、長寿命化、管理の効率化のため、技術者不足の中、多種多様な施設管理維持等を民間に包括管理を依頼し、スケールメリット及びコスト削減を求める

ことが可能となる。

●所見

今まで、公共施設の維持管理は行政が独自に維持管理していたが、人口減少、経済停滞などの要因により、維持管理費用や返済に苦慮していく。

今後は民間資本やアイデア力を借りて協同して建設、運営することが望ましい。行政独自で建設、運営していく場合や民間施設借り上げ方式、ファイナンス・リース方式・セール・リースバック方式、民間サービスによる代替などあらゆる手法を検討して、最も効果の上がる方法を検討すべきと思う。

視察研修成果報告書

令和4年3月31日

議員氏名 藤浦伸介

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期間 令和4年3月30日（水）～令和4年3月31日（木）
- 2 視察先 福岡県福岡市 リファレンス駅東ビル
- 3 視察の種類 想政会 会派視察研修
- 4 視察の成果等
 - (1) 3月31日（木）10時～12時30分 リファレンス駅東ビル 3階
 - ア 主催 地方議員研究会
 - イ 内容 質問力アップ特別講座 「質問の実例研修」
『質問作りの玉手箱・民間活力編』
 - ウ 講師 村山祥栄氏（元京都市議会議員、大正大学客員教授）

(2) 感想等

「SIB」と「PFS」という、初めて聞く言葉の説明から入ったが、簡単に言うと官民連携の仕組みの一つで、内閣府の中にも専門の部署が設置されているとのこと。これまで行政が契約を行う場合には「仕様書を定め、入札を行う」という流れが一般的であったが、これら2つの言葉は「成果連動型民間委託契約」というもので、契約金額ありきではなく、「成果が上がったら、それに見合う分について支払いをする」という、アウトカムに重きをおいた契約を指す。何とも斬新な考え方であるが、既に全国ではこれによる契約を行い、効果を上げている自治体（2019年度末時点で50の地

方公共団体で59のP F S事業を実施)もあるとのことで、それらの自治体に実際に足を運んでみたい衝動に駆られた。

続いて、「P F I」についての説明。近隣市で話題になっていることもあり、身近な言葉ではあるが、要は「インフラ整備は民間協働」ということで、ユニークな取り組みとしては「パークP F I」で、公園の整備から運営までを民間に任せてしまう、というもの。公園内にカフェを設置したり、キャンプ場があったりと、民間ならではの発想により、賑わっている所が多数存在している。

他には「施設包括管理」として、庁舎管理を民間業者に丸投げしている自治体や、「ネーミングライツ」を活用し、公共トイレに名前を付けてもらうことで、名前を付けた企業が抗菌や清掃など維持管理をしてくれるため、維持費が無料になるなど、個人的にはこれまで聞いたことのなかったユニークな事例をいくつも知ることができた。

「質問の仕方」という点では、講師自身の事例を紹介されたが、自分自身で足を運ぶことと、職員に伝えて職員を動かすことの大切さ、そこに生まれる信頼関係を話された。

今回のこの講座(研修会)は、どれも新鮮なものばかりで、大変勉強になった。ここで紹介された自治体はいくつもあるが、そのうちのいくつかには実際に視察に訪れてみたいところもある。また、今後議会で質問する際には、事前の資料収集の必要性や地域・市民の声を聴くという姿勢を改めて感じさせるものであった。

視察研修成果報告書

令和4年 3月 31日

議員氏名 小林晃三

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期間 令和4年 3月31日（木）
- 2 視察先 福岡県博多 リファレンス駅東ビル
- 3 視察の種類 想政会 会派視察研修
- 4 視察の成果等

3月31日（木） 10:00～12:30
議員セミナー 「質問作りの玉手箱・民間活力編」
講師：村山祥栄氏

1. アウトプットとアウトカムでやるSIBとPFS

アウトカム志向の徹底を促す動向とアウトプットの内容はまち・ひと・しごと創生総合戦略において基本目標ごとの数値目標の設定と進行管理が義務付けられた。また、地方公共団体における持続可能な開発目標SDGsの推進が打ち出され、結果的にアウトカム指標での目標管理を行う。

インプット（当該施策の目標達成のためにどれだけの行政資源を投入したか）
↓
アウトプット指標（当該施策の目標達成のために何をどれだけ実施したか）
↓
アウトカム（当該施策の目標がどれくらい実現したか）

SIBとは、民間からの外部資金調達を伴う成果連動型民間委託契約
PFSとは、事業の成果に連動して委託料の最終支払額が決まる業務委託契約

2. PFI事業

PFI（Private Finance Initiative）は公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。

3. 施設包括管理

公共施設の安全性の向上、長寿命化、管理の効率化を目的とした考え方

背景としては、非効率な施設管理、老朽化と資金不足、技術職員の不足があり、早急な対策が必要となった。

所見：S I BやP F Sなど民間の資金を有効利用し、市民サービスの向上を図っていくという先進事例を考えると、本市においても様々な施設や行政サービスに適応できると思われました。現在でも施設老朽化や技術職員の不足は避けては通れない課題であると考えますので、各種問題点を精査しながら民間活力を大いに活かせば良いと考えます。他市ではP F Iの問題や、民間資金の活用の是非など まだまだ課題や問題も多いようですが、本市の今後の継続的な発展のためには良いものは取り入れていくべきと感じました。

視察研修成果報告書

令和4年3月31日

議員氏名 生田 亮久

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期間 令和4年3月30日（水）～令和4年3月31日（木）
- 2 視察先 リファレンス駅東ビル：福岡市博多区博多東1-16-14
一般社団法人地方議員研究会
- 3 視察の種類 講師講演研修（質問の実例研修）
- 4 視察の成果等

【3月31日】

講師：村山祥栄氏

「質問の実例研修」（質問作りの玉手箱・民間活用編）

・これからの行政は、民間と共同もしくは民間に任せ（全てを委託）で運営することが重要。このことで、コストも削減できる。また、民間の多様なアイデアを活用していくことが大切。行政と民間のと「仕組みづくり」が課題となってくる。

・PFS(Pay For Success)成果連動型民間委託契約。これは、民間が行う事業の成果評価に連動して、委託料の支払額が決まる（極端に言えば、成果が無ければ、支払額は0円となる）。

※サービスの成果評価をする「第三者評価者」が重要な役割を担う。そして、成果評価は、評価する人により変わってくるので難しい。「第三者評価者」の構成員の選定は、かたよりがなく、平等に評価できる者として、慎重に行う必要がある。

・従来型の委託事業は、行政が仕様書を作成し、受託者は、その仕様書の通り業務を実施。しかし、この方法では、民間のノウハウが活用できない。また、費用削減の民間独自のやり方を利用することができない。

PFSの手法をとれば、成果に応じて支払いがあることから、民間事業者は、創意工夫し民間のノウハウを活用し費用削減にも取り組む。結果、行政課題が効果的に解決され、住民の満足度も向上する。

・PFSの金額別の案件割合は、1,000万円から3,000万円が全体の約3割となっており、小型の案件が多いものとなっている。

・具体例として、八王子市の「大腸がん検診率向上」の事例がある。受託者はIT企業であり、これまで案内通知を郵送するだけであったが、「大腸がんのリスク要因に応じてオーダーメイドの受診勧奨ハガキ」という付加価値を付けたハガキを送付。受診率向上につながった。

※この他、神戸市の「糖尿病性腎症重症化予防」や福岡県大牟田市の「介護度信仰抑制」など、PFSの制度を採り入れる自治体が増えている。特に、PFSは、福祉行政の分野で効果がある。

・講師の先生が、企業誘致にもこのPFSは有効であるとあり、碧南市においても、市北部の新規企業誘致にPFSの手法を活用できるか検討することができる。

・PFSの拡大版としてSIB(Social Impact Bond)がある。これは、民間からの外部資金調達を伴う成果連動型民間委託契約である。これは、施設建設のような事業資金の規模が大きいもので使う手法である。課題としては、実際の事業者に、資金を提供する民間企業が容易に見つからないことにある。

「所見」

これからは、行政が民間のアイデア、知恵を使って、官民で諸事業を進めていくことが重要である。委託契約も成果連動型にし、仕様書に基づいたことを確実に受託企業が遂行するのではなく、受託企業が知恵を出し、より良いものを、低コストでできる、行政と企業、官民の委託契約方法の多様な仕組みづくりが、重要である。これが、住民の満足度向上につながる。

視察研修成果報告書

令和 4年 3月 31日

議員氏名 村山 要

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和 4年3月30日（水）～令和 4年3月31日（木）
- 2 視察先 リファレンス駅東ビル
- 3 視察の種類 会派視察
- 4 視察の成果等

「質問の実例研修」と題した研修に参加し下記の通りの成果を得たので報告する。講師が元京都市議会の議員を務められた村山氏ということで、実践的な手法に加えて、膨大なデータに基づくエビデンスの高い講話であった。特に、多くの成功事例を素材として講義が進められた中で、高浜市の市役所設置管理事業が取り上げられていたことが興味深かった。高浜市の事例は、私たちの地域では極めて異例の事業であったため、発表当時から話題に上がってはいたが、前提となる知識を学んだ後に改めて審査する立場として考えると、現在も問題なく運営されている点について当時の高浜市議会議員各位に敬意を表したい気持ちになる。前例の無い中での新規事業の議案審査は、参考資料も乏しく、執行部側の説明ばかりに耳が行きがちであるが、本来は目的がなんなのか、手法は妥当なのか、その他、竣工後の費用対効果、市民福祉などなど多岐にわたる論点を一つずつまとめながら進めることが困難である。例えば、休憩中に講師との雑談の中で話題となった西尾市のPF

I 事業、および契約にまつわる課題についてである。西尾市の P F I 事業契約に伴う課題は、現時点でも解決の糸口が見えない中にあるが、同様の事象が碧南市でも発生しうるため、講師が述べられた事業者との契約にまつわるトラブルが多い点を注視した審査、審議に心がけたい。

講義も終盤に差し掛かったところで、講師自身が地方議員として経験した実際の課題解決に向けた取り組みを事例として紹介された内容が印象的であった。今回は市営住宅にまつわる市民の陳情から始まった事件を題材とされていたが、現場写真を交えた執行部側に対する質問の組み立て方は理論的で大変興味深いものであると同時に、全ての事案に使えるものではないにしろ、裏付けのない情緒的な質問や発言と比較して納得しやすいものであることは明白である。インターネットで得られる情報も重要ではあるが、我々地方議員は現場に足を運び、実際に目で見て話を聞いて、課題の発見から解決策の思案まで含めた包括的な市民生活の向上に向けた活動の大切さを改めて思い出した次第である。

結びに、質問力向上を目的とした研修であったが、結果として地方議員としての豊富な経験と見地から新たな気づきを多く得られたこと、何より現在の碧南市のおかれている状態に対して危機感を持つとともに、今後の発展のために建設的な意見を述べる材料と手法を学べたことが収穫であった。

視察研修成果報告書

令和 4年3月31日

議員氏名 鈴木良和

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期間 令和4年3月30日（水）～令和4年3月31日（木）
- 2 視察先 福岡県福岡市
- 3 視察の種類 会派視察研修（想政会）
- 4 視察の成果等

3月31日AM10:00～福岡市内会議室にて村山祥栄氏による「発想の転換・民間活力でこんなに街は変わる」について学んだ。

民間連携でのアウトプット（結果）とアウトカム（成果・効果）について、すべての地方公共団体に義務付けられた「まち・ひと・しごと・創生総合戦略」において、基本目標ごとに数値目標の設定と、これらを用いた進行管理が義務付けられ、その数値目標はアウトカム指標であることが必須とされた。

SDGsは目標達成に向けた進捗状況を測るための約230の指標が提案されており、SDGsに取り組むことによって結果的にアウトカム指数で目標管理を行う。以上を利用したものが、PFS・SIBである。成果連動型民間委託契約（PFS）とは、事業の成果に連動して、委託料の最終支払額が決まる。民間への行政サービスの業務委託契約であ

る。

S I Bは民間からの外部資金調達を伴う成果連動型民間委託契約を示す。

P F Sのメリットとして

①民間にとっては、行政が明確に設定した成果指標（事業目標）を官民が共有し、民間事業者が事業目標の達成に向けて創意工夫を講じることにより行政だけで決めた実施方法で課題解決を目指す。仕様発注に比べて行政課題が効果的に解決され満足度が向上。

②民間事業にとっては、自社の技術や提案を盛り込んだ事業手法により、一定期間事業を実施し、事業の結果（成果指標値の改善状況）が良いほど報酬が増えることにより、決められた事業手法を単年度実施し、固定報酬を受ける仕様発注に比べ、事業提案（創意工夫など）事業取り組みの意欲が向上。行政にとっては事業目標とP F S事業の効果を定量化した上で発注し、事業目標の達成（成果指標値の改善状況）に応じた支払いを行うことにより、成果指標値の改善にかかわらず、プロセスに支払う仕様発注に比べてワイズスペンディングを実施。

デメリットとは、対応できる企業が限定される可能性があり、リスクを負担できる企業が限られる。また、一般的に投資回収期間が長期にわたるケースが多い。

将来的には、本市においてもP F S・P F I事業推進に向かわれていくと考える。これをもって、視察報告書とする。